

令和6年度 『琴畑水源の森プロジェクト』

遠野支署と協定している琴畑水源遊々の森で、令和6年5月21日（火）に遠野市及び遠野エコネットと協力して行っている「令和6年度 琴畑水源の森プロジェクト」として、今年度も土淵小学校の4年生15名と遠野市土淵町栃内の東恩徳国有林51林班地内において、ミズナラの苗木の植樹等を行いました。



真剣に植樹の手順を聞いています

当日は、薄曇りで風も強く肌寒い天気でしたが、時間が経つにつれて晴れ間も見えてきました。児童たちがスクールバスに乗って到着し、植樹が待ちきれないようなワクワクした顔をしていて、こちらもやる気と元気をもらえました。始めに植樹の手順を説明し、その後2～3人の班に分かれて約40本のミズナラの苗木を植えました。苗木のに入った袋を手にして、「どこに植える?」「あっちがいいよ!」など児童同士で話し合いながら広い植樹場所に駆け出して行きました。植樹場所は笹の根が深く張っており、唐鍬やスコップで一生懸命掘ってもなかなか穴が深くならず、子供たちも植樹の難しさを実感しているようでした。しかし、段々慣れてきたようで、笑顔いっぱい、

元気いっぱい、一生懸命頑張っていました。そんな素顔に職員一同も元気をもらえました。

苗木を植えた後は、シカなどの動物に食べられないようにシカ被害防止チューブを設置し、自分たちが植えた苗が分かるように、チューブに植樹した年月日と名前を書きました。その後は近くの沢からバケツで水を汲み、斜面を駆け上がりながら競うように苗木に水をあげて作業を終えました。

感想発表では、「鍬やスコップを使って穴を掘るのが大変だった。」「植えた苗が、シカに食べられないようにチューブを設置することが分かったので、家に帰って家族にも教えたい。」など、児童それぞれの感想を聞くことができました。この体験を通して水と森林・山の関係を理解し、自然の大切さと、自然と共存していくためにはどうしたら良いか?など興味を深めてくれたら幸いです。児童たちが将来大きくなった時に、自分たちの植えた木が水源の森として育っているか、ぜひ見に来てほしいと思います。



岩手南部森林管理署遠野支署 鈴木・小澤



穴掘り開始



笑顔で記念撮影



大きく育ててね!



シカに食べられないように苗木にチューブをかけよう



記念に名前を刻もう